

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例No. 26

区分 消毒

【質問】

喉頭鏡のブレード（ノズル部分）（ステンレス製）の消毒には、高水準消毒薬（フタラール）や塩素系消毒剤を使用していますが、塩素系消毒剤では腐食が起こりやすいなどの問題もあります。適した消毒があれば教えてください。

【回答】

喉頭鏡のブレード（ノズル部分）は口腔内の粘膜面と接触するため、ス波尔ディングの分類ではセミクリティカルに該当し、洗浄後に中水準消毒以上の処理が必要となります。

以下の①～⑤の方法が、ブレードの消毒方法として文献で紹介されています。

①熱水消毒（80℃、10分間）

②0.01%次亜塩素酸ナトリウム液（60分間）、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液（30分間）

に浸漬後、すすいで乾燥

③0.3%過酢酸に5分間浸漬後、すすいで乾燥

④消毒用エタノールまたは70%イソプロパノールで清拭

⑤可能であれば、高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）

確実な洗浄・消毒、そして作業者の安全面から、熱水消毒が最も望ましいです。しかし、ブレードの構造や素材によって、それぞれに適した処理方法が定められていますので、必ず取扱説明書を参照するかメーカーに確認して下さい。貴院で採用されているブレードに

適した、かつ中水準消毒以上の処理方法のうち、運用可能な方法を導入されることおすすめします（一般的に電球のついたタイプは熱水消毒できませんが、ファイバータイプでは熱水消毒は可能と思われます）。

現在行われているフタラールや塩素系消毒剤での消毒は、それぞれの危険性を理解して使用する必要があります。

フタラールは残留性があることから、「経食道工コーのプローブや軟性膀胱鏡に用いない」とされています。浸漬消毒後、流水でどの程度すすぎを行えばよいかといった指標がないので、用手法での使用は避けるのが望ましいと考えます。また、液の付着による皮膚の化学損傷や蒸気の吸入など、取り扱いには十分注意する必要があり、現場での消毒にはおすすめできません。

次亜塩素酸ナトリウムは、お考えのとおり、高濃度では金属腐食性がありますし、また、0.01%の低濃度では、洗浄が十分でない場合に残った汚れで不活化されて消毒効果がなくなるといった問題もあります。

電球のついたタイプを使用している病院では、①洗浄しガーゼで水分除去した後、アルコール清拭、②血液が付着している場合は、洗浄後、0.05%次亜塩素酸ナトリウム液で清拭し、その後水拭きするといった方法をとっているそうです。また、滅菌可能なタイプを使用している病院では、①熱水洗浄、②洗浄後、高圧蒸気滅菌、③洗浄後、アルコール清拭のいずれかの方法で処理しています。本数が少ない場合、なかなか器械洗浄や高圧蒸気滅菌ができませんので、アルコール清拭することが多いのが現状です。その際、洗浄を十分行う必要がありますので、「自分の口に入れられても大丈夫なくらい、念入りに洗浄すること」として現場に指導しています。

引用・参考文献

- ・ 伏見 了他：これで解決 洗浄・消毒・滅菌の基本と具体策.ヴァンメディカル.2012
- ・ 大久保 憲編：洗浄・消毒・滅菌の絶対ルール227&エビデンス.メディカ出版.2009